

名家連ニュース

平成29年10月13日(金)
発行：特定非営利活動法人
名古屋市精神障害者家族会連合会
会長 堀田 明
TEL/FAX (052) 846-5576 NO. 488号

回復力を高める関わり方 大盛況!! 高森信子先生の講演会

10月8日(日)、連休の中日にもかかわらず、名古屋市総合社会福祉会館大会議室に家族、当事者、医療・福祉・行政関係者など150名を超える方々が参加しました。

主催：北区精神保健福祉ボランティアグループ「かけはし」 共催：家族会「どんぐり会」「カトレヤ会」

講演要旨：親は病気の部分にばかり目が向き「何とか治したい」「良くしたい」という一心から、つつい余計な口出しをして、関係が悪くなるなど逆効果になってしまいがちです。(左図活用)健康な部分に目を向けて病気の部分を小さくしていく、回復させていく関わり方の大切さを資料にまとめていただきました。

ご本人の回復力(自然治癒力)を高める接し方では

① 今を認める ② 褒める ③ お願いする の3点について具体的事例を挙げてお話していただきました。

ご本人の気持ち→「病」を雨に例えるなら…傘をさしかけてくれるだけでなく…ともに濡れてほしいのです(私の気持ちを判って欲しいのです)→というお話は、私たち家族も医療・福祉関係

者も本人との関わり方について、改めて考えさせられた講演内容でした。(文責：カトレヤ会会長 堀場)



～薬の副作用について～斎藤玲子氏(薬剤師)の講演

10月9日(月)、南区障害者基幹相談支援センター「クォーレ」において表題の講演会が開催されました。主催は「みなみ家族会」。他の家族会の会員も含め34名の方々が参加されました。

先生は初めに、統合失調症の病気や障害についてお話しした後、配布資料に沿って薬を3つのグループ(第1世代、第2世代、新世代)に分け、薬も色分けして「すべての症状に反応するもの」「陽性症状や陰性症状などに反応するもの」、そして薬の様々な副作用などについて講演されました。

講演中も、参加者の理解の度合いや反応を確かめるようにしながら、時間をかけて判り易くお話ししていただきました。

質問時間も多く確保して、10名ほどの家族の質問にも丁寧に答えていただきました。

《参加者感想》多くの家族から「腑に落ちた」「今まで聞いた薬の話の中で一番分かり易かった」など大変好評でした。

(みなみ家族会の原和美会長以下3名の方々から取材。文責：事務局 堀場)

